FILE/2016 spring

忘年例会報告

平成27年12月1日（火）納涼例会と同じくｇｌａｎｃｅにて、忘年例会を開催しました。参加は69名でした。

今年の忘年例会はプロのマジシャンをお迎えし、テーブルマジックから本格的なイリュージョンまで幅広いマジックを楽しみました。目を凝らして種明かしを見つけようとマジックを見るばかりでは面白いけど疲れるので、途中で軽い余興として、じゃんけん大会も2回行いました。空中で踊るテーブルやカードマジックも楽しかったのですが、何といってもイリュージョンは黒いボックスに入ったアシスタントの美女が三つに切られながらも、衣装替えして笑顔で出てくるという内容で、衝撃的で迫力満点でした。親睦委員は道具の搬入搬出をお手伝いしたので、どこかに種明かしがあるのではないかと躍起に探しましたが、誰も見つけることはできず残念でした。日頃、なかなか本格的なマジックを目の前で見る機会はないので、とても盛り上がりました。

親睦委員長　和田　洋子

芳田小学校　学習指導報告
講師派遣プログラム

芳田小学校に連絡し、今年度の学習指導協力について担当の先生に連絡をいれましたら、「今年度は一時限（45分間）で5年生3クラスを家庭科の授業の範囲（各月・水・木曜日）でお願いしたい。」とのことでした。昨年より縮小傾向に見られたのでこの事業もそろそろ見切り時かなと思いました。

新年明けて中桐副代表・於東前年度委員長・私とで内容の確認に学校と打合せをしました。先生方は「設計クラブで建築関連の話が聞きたい」というものでした。我々は授業（講演等）でしゃべるのは慣れていないので、1時限2グループとして検討しました。第1グループは地震と震度・建物（おおまる設計・大丸、岩水開発・丸岡）、第2グループは明かりについて（大光電機・塩尻）、第3グループは住まいと木（ヴァンズ・赤澤、ウッディヨネダ・米田）、第4グループは窓とガラス（ＢＴＳ・山下、アヤベ・黒崎）、第5グループは暮らしとエネルギー（両備商事・林、岡山ガス・辻）、第6グループは水のお話（ＬＩＸＩＬ・佐久間）でどうですかと学校側に提案しましたら、先生方からどの話も面白そうなので、クラス分けせずに5年生全員に全部の話を聞かせたいとおっしゃって、3クラス合同での各教室ではなく談話室での講師派遣授業となりました。（児童数80数名）児童相手の話なので言葉選びが難しい面もありましたが、非常に盛況で学校側からは大いに喜んでいただけました。子供たちは正直で映像・模型実演・実験等では目の輝き方が違って、授業話の時とは態度が変わるのです。最初のお話での今年度で終了かという気持ちは杞憂におわりました。また芳田小学校でよりよい企画ができればと思いました。講師の皆さんありがとうございました。

テーマ・交流委員長　江川　治男

（敬称略）

おかやま建築５会＋１
まちづくり協議会報告

27年度の5会＋1の活動として、大きく分けて2つに事業を行いました。1つめは日本建築学会中国支部が主催する「戦後復興より70年―岡山の建築と街のあゆみ再考―」をテーマに掲げ、著名な建築家たちが手掛けた建築を探訪し、さらに「文化としての建築と街のかかわり」と題したシンポジウムを行いました。建築探訪は平成27年10月3日10日17日の3日実施され全7コースが用意され延べ143人の参加で実施されました。10月24日に、天神山文化プラザホールにて、倉方俊輔氏（建築史家）より基調講演「建築と街の魅力」の後、倉方氏を交えての鼎談形式でシンポジウムが行われ、150人の参加者で実施しました。多くの皆様に参加いただきありがとうございました。

2つめの事業は、岡山県主催で5会＋1が共催という形で行われた「次世代エースの君たちへ！」と題し、平成28年2月3日に開催され、岡山県内で建築を学ぶ高校生85人、大学・専門学校生30人、一般・社会人34人の計149人参加で、渡辺邦夫氏（構造設計集団〈ＳＤＧ〉による基調講演「コラボレーションの時代」の後、渡辺氏をはじめとする建築のあらゆる分野のパネラーによるパネルディスカッション「次世代エースの君たちへ」が行われ、会場の参加者が、建築の仕事に対する期待と不安などについて質問し、パネラーが答える形式で行われました。間髪いれず質問が飛び出し、予定時間を超過する盛況ぶりでした。参加してくれた学生さん達が建築分野で活躍することを願う一方で、魅力ある職業分野にしていく努力も必要だと改めて思いました。ご協力頂きました皆様に改めて感謝いたします。ありがとうございました。

親睦委員会　土田　利行

平成28年度に入会

（正会員）塚本雅久建築設計事務所
塚本　雅久

平成27年度に退会

（賛助会）大町商事㈱
㈱ハクスイ工業

（正会員）（有）リスプ環境・都市建築研究所
㈱エイチ・ケイ小林設計

編集後記

突然ですが、私は今期で退会させて頂くこととなりました。最後の大役とのことで、ＦＩＬＥ編集をさせていただきましたが、改めて、パワーのある団体だなと感じました。今後益々の皆様のご活躍とご健勝を祈念して挨拶と代えさせて頂きます。ありがとうございました。皆様も益々パワフルに頑張ってください。

編集　坂田　貢一

ＦＩＬＥ編集　総務・広報委員会
編集担当　赤木　定
坂田　貢一

岡山建築設計クラブ

URL　http://www.optic.or.jp/okcc/
E-mail　okcc@optic.or.jp
〒700-0022
岡山市北区岩田町2-26　ニュー中桐ビル
TEL.086-233-1276
FAX.086-233-8351

この一年を振り返って

「ＩＴと建築」のテーマのもと29年目の岡山建築設計クラブの活動を無事終えることができました。会員・賛助会の皆様方には、大変感謝致しております。

このテーマのもと、一年間の活動でしっかりと理解できた事は、どんなにＩＴ化が進み、人工知能が我々の生活を変えてしまう日がやってきたとしても、私たちは個々の信頼関係を大切にし、しっかりとした知識・見識を身につけて実行していく事につきると感じました。ＩＴの進化と我々の愛が上手く向き合い建築技術を向上させていければ、今後の明るい建築の世界が見えてくると感じた一年でした。岡山建築設計クラブの活動は我々が感じている以上に外部からは歓迎・強化を受けております。昨年の日本建築学会中国支部からの表彰や各教育機関からの要請がそれを証明しています。今後共この素晴らしい愛ある活動が続く事を願います。

最後に一年間の活動を支えて下さった丸川副代表・中桐副代表ありがとうございました。そして、活発な活動を引っ張っていただいた各委員長の江川さん、赤木さん、和田さん、大月さんありがとうございました。幹事会の皆様、正会員の皆様、賛助会員の皆様方、本当に一年間ありがとうございました。

来年度は三十周年です。大垣代表幹事のもと我々の活動を待っている方々とそして岡山建築設計クラブにも大きな愛を届けましょう。

代表幹事　佐々木　満

キッズスクール報告

2月7日（日）11日（祝日）旧内山下小学校にてＮＰＯ法人とＯＫＣのコラボにより建築家といっしょに理想の我が家をつくろう！！を小学校3年～6年生までの親子を対象に募集をしたところ、募集期間が短かったにも関わらず、百組以上の募集が40組の募集に対してあり、参加できなかった方々に次回のお約束をしてもいいものかどうなのか、困惑する場面もありました。さあ、出番です熟練ＯＫＣの方々に、プランの作成方法、模型の作り方、等を簡単に講義していただきました。

子供たちの出番です。さすが興味があり参加された親子です。手伝う・教える・スキがありません。タジタジ　40組が40通りの素晴らしい案をどんどん作図され、1日目の午後からは、参加者全員が親子で模型づくりに取りかかっていました。日ごろ使わないカッターナイフ！！使えるかな？ＯＫＣ・ＮＰＯ・親御さん全員が同じ思いで・・・使い方を指導しながら・・子供たちはそんな心配をよそにどんどんスチレンボードをきりきざみ建物の形にしていきました。2日目の午前中で全員が模型を完成。午後からは、各組3分で理想の我が家への想いをプレゼンテーションしました。将来自分が住むための家、お父さんお母さんと兄弟と一緒に住む家、私が建築家になったら設計する家、いろいろな想を夢がいっぱいの素晴らしい発表をしていただきました。将来がとても楽しみなこどもたちです。みんな建築家になればいいのに。今回、休日に関わらず参加ご協力いただいた皆様、至らぬ点も多々あったと思いますが、本当にありがとうございました。

事業委員長　大月　始

平成27年度臨時総会報告

平成28年3月16日（水）、ピュアリティまきびにおいて平成27年度臨時総会が開催されました。

正会員臨時総会が出席者数＋委任状者数＝30／36名、そして、賛助会員臨時総会が出席者数＋委任状者数＝44／53名、となり両総会は成立し、役員改選案が承認されました。臨時総会が無事に終了し同会場にて、学校法人森教育学園、岡山学芸館高等学校、理事長兼学園長の森靖喜氏をお迎えし「日本の近現代史の見直しと教育改革」と題してご講演を頂きました。

そして、賛助会主催の懇親会を行い今期代表幹事の佐々木満氏の1年の締めくくりとなる言葉、そして30周年を迎える来期代表幹事の大垣克己氏より抱負などの言葉を頂きました。

総務系副代表幹事　中桐　愼治